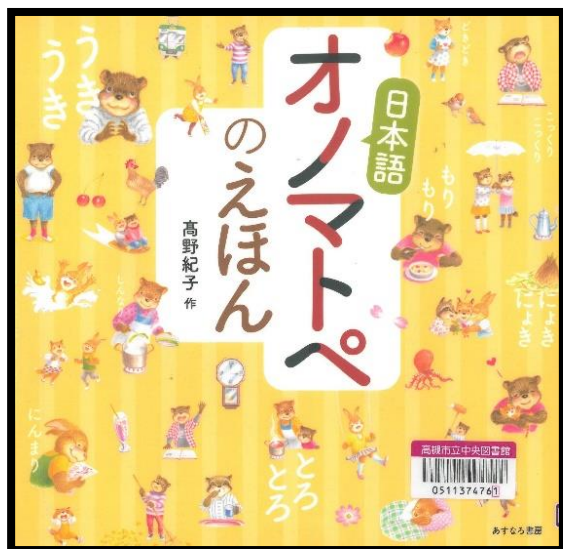


にほんご

日本語オノマトペのえほん

特集:どきどき



たかの のりこ
高野 紀子/作

あすなろ書房〔814〕

音や動物の鳴き声、ものごとの様子、心の動きを表現した言葉をオノマトペといいます。「どきどき」は心臓の鼓動が聞こえるほど気持ちが高ぶるさまを表したオノマトペです。

歩き方の表現だけでも「すたすた」「とぼとぼ」「のそのそ」など、日本語にはたくさんのおノマトペがあります。この本では、場面ごとに集められたオノマトペがそれぞれどんな様子を表すのか、説明されています。

動物たちの表情豊かなイラストがかわいい、楽しく学べる言葉絵本です。

コケシちゃん



さとう まどか/作

きむら いこ/絵

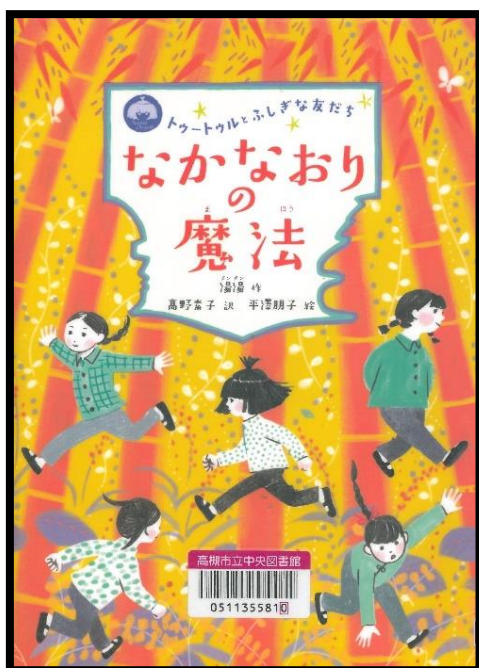
フレーベル館〔913サト〕

4年1組に、スイスから体験入学生がやってくる。金髪かな？言葉は通じかな？ドキドキしながら教室で待っていたくるみ。しかし、教室に入ってきたのは、まるでコケシそっくりな田口京という女の子でした。

田口さんは、はっきり自分の意見が言える子で、内気で声が小さくなるみはとまどいます。

日本とスイス。育った環境や習慣がちがう中、反発しながらもそれぞれのことを認め合い、友情をはぐくんできます。

まほう なかなおりの魔法 トウトウルとふしぎな友だち [2]



湯湯/作

高野 素子/訳

平澤 朋子/絵

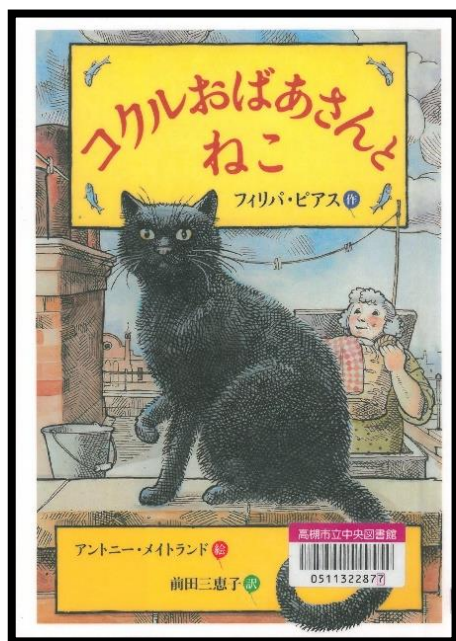
あかね書房〔923タ〕

小学3年生のトウトウルは、なかよしの4人にいじわるされて腹を立てています。そんな時、見知らぬおじいさんに出会い、腹が立たなくなる方法を教わります。それは、石の上に相手の顔を描き、落書きすること。すると怒りは消え、相手は描いた通りひどい顔になると言うのです。

トウトウルがその通りにやってみると、次の日、4人とも学校に来ませんでした。一体何があったのでしょうか。

小さな村を舞台に、トウトウルの成長を追ったふしぎな物語は、現在3巻出ています。イラストも魅力的な中国生まれのシリーズです。

コクルおばあさんとねこ



フィリパ・ピアス/作

アントニー・メイトランド/絵

前田 三恵子/訳

徳間書店〔933ピア〕

コクルおばあさんは、ロンドンの町のふうせん売り。黒ねこピーターは大切な家族です。ところが、さかなをもらえなくなったピーターは、家出をします。心配したコクルおばあさんはどんどんやせていき、ある風の強い日、ふうせんごとまいあがります。雲の上までとばされてしまったコクルおばあさんですが、空の旅を楽しむことにしました。

1972年「おばあさん空をとぶ」で出版されたものを、タイトルを変更し、さし絵をつけて復刊した本です。